

1. 全般的事項

1. 1 青山インフォメーション・サイエンスへの投稿に際しては、「青山インフォメーション・サイエンス編集に関するガイドライン」を熟読し、その目的に合致した原稿を作成すること。

1. 2 投稿論文の種類、投稿資格者、内容については、「青山インフォメーション・サイエンス編集に関するガイドライン」に従う。

1. 3 執筆にあたっては、著作権法や個人情報保護法など、各種法令を遵守すること。

1. 4 既発表または投稿中の論文や文献と同一内容または極めて類似した内容を、同一著者もしくは少なくとも1名を含む著者により投稿してはならない。

ただし、他の出版物（論文誌等）で査読を経て掲載された、または投稿中の論文を除く、学位論文や予稿、技報、記事等であれば、各種法令を遵守し、論文中で適切に引用されている場合、二重投稿には当たらないものとする。

1. 5 研究プロジェクト報告については、研究プロジェクト代表者を著者として含む論文とすること。

2. 原稿について

2. 1 投稿原稿の種類と定義、および掲載時の標準ページ数は以下のとおりである。ただし、標準ページ数は目安であり、いずれもページ数の制限は設けない。

(1) 論文／Regular Papers

著者のオリジナルのアイデアや新たな発見が含まれているもの。もしくは、該当分野へ資する有用な知見が含まれているもの。教育実践やシステム構築などの実践研究論文を含む。標準ページ数は8ページとする。

(2) 総論／Review Papers

特定のテーマに関する数多くの既存の研究をサーベイし、著者なりの視点で整理したもの。標準ページ数は8ページとする。

(3) 研究ノート／Short Papers

速報性を有する研究報告や、発展性が高いと認められる新たな試みを含む着想など。標準のページ数は4ページとする。

(4) 資料・解説

特定のテーマに関する資料や解説を示すもの。テクニカルレポートを含む。標準のページ数は4ページとする。

(5) 報告

報告の分類は「青山インフォメーション・サイエンス編集に関するガイドライン」第4条5号に従う。「エ その他」には、研究動向、実証実験報告、展示報告、雑録などを含む。なお、内容に応じて適宜ジャンル名称を指定することがある。標準ページ数は6ページとする。

(6) 寄稿

編集委員会からの依頼を受けて執筆される。ページ数は、依頼時に決定する。

本文は2段組とし、文字数については、和文の場合24文字×44行、英文の場合1ページあたり900 Wordsとする。

2. 2 構成

投稿原稿については以下の通りの構成とし、ワープロソフト、Texを利用してWord文書形式(doc, docx)、または、PDF形式で投稿すること。

寄稿については、依頼時に決定する。

(1) 論文題目

論文題目は和文、英文の両方を表記すること

(2) 著者名、所属

著者名は和文、英文の両方を表記し、所属を脚注として、「*¹ *²」や「† ‡」,「* **」のよう示す。

(3) 抄録

「論文」「総論」については、300字以内の和文抄録と100 words程度の和文抄録の英訳を付ける。

ただし、研究ノート、報告については、和文抄録のみを付ける。

英文論文の場合、100 words程度のSummaryを付ける。

(4) キーワード

「論文」「総論」については、5語程度の和文および英文（語頭のみ大文字、英文論文の場合は英文のみ）のキーワードを付ける。

上記を除いては、和文キーワードのみとする。

(5) 本文

本文の構成に関しては特に定めないが、著者の論点・意図・主張等が読者に伝わるように十分に配慮すること。

句読点は「,」「.」の組み合わせ、または「、」「。」の組み合わせのいずれかとする。

(6) 図表

図1, 写真1, 表1のように通し番号を付するとともに、必ず説明を付けること。

なお、図、写真、表は1ページの各段の上または下に配置し、著者がオリジナルに作成したものを使用すること。

また、図、写真、表の読みやすさに十分配慮すること。

(7) 略語

略語は、初出の際には正式語を使用し、続けて括弧内に略語を明記する。英文の略語は初出時に正式語と日本語訳を併記する。

(8) 引用

直接引用する場合には、その旨が分かるように記載すること。

例)「」で囲む、インデントする、イタリック体にする。etc...

(9) 参考文献

参考文献の記載については、科学技術情報流通技術基準や社会学評論スタイルガイドを参考にし、読者がその文献を同定できるようにすること。

(10) 注釈

論文の読みやすさが損なわれないよう配慮すること。

(11) 謝辞

謝辞には当該研究に対して助言や協力を受けた者を記す。

(12) 著者紹介

著者紹介は、1人あたり末尾の7行分をあて、原則として左端に顔写真(縦横30×20mm程度)を電子的な型式で貼り付ける。それに続けて著者紹介を記載すること。

研究ノート、資料・解説、報告については、著者紹介・著者写真を掲載しなくてもよい。寄稿については依頼時に決定する。

3. 投稿の流れ

3.1 提出

提出期限は、発行日120日前を目安としている。

提出するものは、以下の2点である。

- ・投稿原稿
- ・投稿申請用紙

提出先は、情報メディアセンター 青山インフォメーション・サイエンス担当宛とする。

投稿原稿の提出は、投稿申請用紙とともに、メールに添付して送付する。郵送、および持ち込みの場合は、CD等のメディアに電子データを記録したものを1部添えること。

以下の連絡は、全てメールにて行うこととする。

3.2 論文の掲載

投稿原稿については、「青山インフォメーション・サイエンス編集に関するガイドライン」にもとづき編集委員会で確認する。なお、以下の事由などにより、投稿原稿を受け付けない場合がある。

- ・ 投稿論文の扱う内容が本誌の趣旨と合致しない.
- ・ 著作権法や個人情報保護法などの法令に違反している.
- ・ 倫理違反がある. もしくは倫理事項に関する記載に不備がある.
- ・ 明白な誤りがある.
- ・ 投稿原稿が未完成, もしくは全体的な文章の完成度が著しく低い.
- ・ フォーマットが投稿規定と著しく異なる.

3. 3 投稿者への通知

編集委員会は, 投稿原稿の確認結果を投稿者に通知する. 掲載にあたり, 編集委員会から修正依頼を行うことがある. また, 修正依頼に応じない場合, 掲載を取り消すことがある.

3. 4 発行

青山インフォメーションサイエンス完成後, 青山学院大学学術リポジトリに公開する.

以上